

**【無料提供】新型コロナウイルス感染症拡大で、高まる産業保健の重要性
衛生委員会にて利用できる『衛生講話資料』『産業保健担当者向け資料』を
「サンポナビ」にて3月13日より提供開始**

「産業医サポートサービス」で企業の健康経営を支援する株式会社エムステージ（東京都品川区、代表取締役：杉田雄二）は、新型コロナウイルス感染症拡大により、ますます重要となっている企業の産業保健活動の1つである、衛生委員会にて利用できる資料を2020年3月13日より無料で提供を開始します。資料は産業保健師監修のもと作成し、「産業保健担当者向け資料」ならびに「衛生講話資料」の2種類です。緊急事態だからこそ必要とされる産業医と連携した産業保健活動にも役立てるものとなっています。当社のウェブメディア「サンポナビ」よりダウンロードが可能です。



TOP


キーワードを入力してください 検索

産業医 健康管理 メンタルヘルス 働き方改革 働き方インタビュー お役立ち資料

NEW

<無料提供> 企業向け 新型コロナウイルス感染症対策 資料




2020年3月13日UP

流行が拡大している「新型コロナウイルス感染症」。企業においては感染予防に関する正しい知識を衛生委員会と共有し、従業員に啓発することが求められます。そこでサンポナビでは、保健師監修のもと、新型コロナウイルス感染症対策のために役立つ資料を2種類ご用意しました。すべて無料でダウンロード可能です。

- (1) 産業保健担当者向け資料
- (2) 衛生講話資料

少しでも多くの企業様に、そして従業員の皆様に正しい知識が広まるよう、ぜひお役立ていただきたいと思っております。

詳細・ダウンロードはこちら

■資料作成の背景

新型コロナウイルス感染症が拡大し、各企業は企業活動継続のために様々な対策に取り組んでいます。先日、当社ウェブメディア「サンポナビ」にて公表した『緊急事態における産業医の“役割”と“重要性”～新型コロナウイルス感染症対策とBCP』は専門家の見解をまとめたもので、情報が錯綜する中、専門家へのインタビューを通して発表された情報として企業活動の参考となっています。

中でも活動の軸となる「衛生委員会」で産業医と連携することをはじめ、「衛生講話」を通じて従業員の予防意識やリテラシーを向上させることが重要です。

企業の健康経営を支える当社は、多くの企業が正しい情報をもって企業活動の継続に取り組めるよう、産業保健師監修のもと本資料を制作しました。CSRの一環として、本資料を無料提供します。

■資料ダウンロード方法

当社ウェブメディア「サンポナビ」のお役立ち資料ページにて、必要事項入力後にダウンロードが可能です。

「サンポナビ」>お役立ち資料 <https://sangyoui-navi.jp/library>

■資料内容について

【産業保健担当者向け資料】

<p>職場における感染症対策①</p> <p>社員の健康状態のモニタリングを行いましょう</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> 風邪の症状がある場合は出社しないで自宅待機させる。 社内で勤務中に発熱した場合は、マスクを着用させたうえで帰宅させる。 <p>自宅待機後3日以内に解熱した場合</p> <p>職場に復帰させるタイミングの目安は、各種薬剤の内服のない状態で風邪の症状が消失してから2日以降が望ましい。</p> <p>自宅待機後4日たっても解熱しない場合</p> <p>「風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合、倦怠や呼吸困難がある場合」は、産業医の保健所などに診察される【帰国者・接触者相談センター】に問い合わせをする</p> <p>検索しよう！ 帰国者・接触者相談センター 厚労省</p>	<p>産業保健職の役割</p> <p>企業は産業医と連携し、社員の安全配慮義務を尽くしましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業は産業医から医学的・情報提供や意思を定めるなど専門的な支援を仰ぐことが重要である。企業と産業医は情報を共有し、産業保健活動や感染症対策に関する体制を構築してください。 <p>情報の収集と職場への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の各種機関からの最新情報を収集し、事業者および社員に提供する。 <p>新型コロナウイルス対策全般に関する医学的妥当性の検討と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学的実行可能性を検討し、社内の各部門が連携して危機管理に対応するための動きを行う。 <p>感染予防対策の実施および管理方法の検討と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策が実施できるための環境整備を行う。 感染者が発生時の対応手順を定め教育および訓練を実施する <p>社員の健康状態にあわせた配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎疾患がある社員を把握し、事前に必要な配慮を検討しておく。 	<p>雇用調整助成金</p> <p>雇用の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、一時的な雇用調整を実施することによって従業員の雇用を維持した場合に助成されます。</p> <p>※受給には、いくつかの条件を満たす必要があります。詳細を知りたい方は、以下を検索してください。</p> <p>雇用調整助成金: 厚労省</p> <p>参考URL 厚労省 雇用調整助成金について https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hoyu_roudou/hoyou/hoyou/yufukin/page07.html</p>
--	--	--

1. 新型コロナウイルス感染症とは
2. 職場における感染対策
3. 社員への対応
4. 集団感染を予防するために
5. 産業保健職の役割
6. 助成金について
7. Q&A

【衛生講話資料】

<p>新型コロナウイルス感染症とは</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜伏期間</td> <td>1～12.5日（多くは5～6日、最大14日程度）と考えられています。</td> </tr> <tr> <td>症状</td> <td>風邪のような症状・呼吸の苦しさなど。</td> </tr> <tr> <td>感染力</td> <td>1人の患者が感染させる人数は2～3人程度と考えられています。（インフルエンザと同程度）</td> </tr> <tr> <td>感染経路</td> <td>主に飛沫感染と接触感染と考えられています。</td> </tr> <tr> <td>検査方法</td> <td>医師が感染の疑いがあると判断した場合、渡航歴・患者との接触歴に関わらず咽頭スワブのPCR検査を行います。</td> </tr> <tr> <td>治療方法</td> <td>現時点では特異的な治療薬やワクチンは存在しません。対症療法が中心です。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	潜伏期間	1～12.5日（多くは5～6日、最大14日程度）と考えられています。	症状	風邪のような症状・呼吸の苦しさなど。	感染力	1人の患者が感染させる人数は2～3人程度と考えられています。（インフルエンザと同程度）	感染経路	主に飛沫感染と接触感染と考えられています。	検査方法	医師が感染の疑いがあると判断した場合、渡航歴・患者との接触歴に関わらず咽頭スワブのPCR検査を行います。	治療方法	現時点では特異的な治療薬やワクチンは存在しません。対症療法が中心です。	<p>マスクの正しい使用方法</p> <p>あなたのマスクの着用方法はあっていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> つける前に手洗いをします。 ワイヤーが入っている方が鼻側です。鼻に当たります。 つけるときにはマスクの裏面に触れない。 つけたらマスクに触れない。 鼻から顎まで全てがしっかりと覆われる大きさのマスクを選択します。 外すときには、耳の後ろだけ持って外します。 外したら手洗いをします。 可能であれば毎日1回マスクを交換します。 しっかりとブリーチは開きます。ひたが下を向くようにつけます。 	<p>なぜ自己判断での受診がいけないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所のクリニックでは、新型コロナウイルスに対する感染対策が不十分である可能性がある。 医師の対応におわれ、重症化の対応が難しくなる医療費が行き渡らなくなる。 自分が感染源となり、感染拡大させてしまう可能性がある。 待合室に感染者が混んでいた場合に自分が感染する危険がある。本当はただの風邪なのに... 7-隠れ感染
項目	内容															
潜伏期間	1～12.5日（多くは5～6日、最大14日程度）と考えられています。															
症状	風邪のような症状・呼吸の苦しさなど。															
感染力	1人の患者が感染させる人数は2～3人程度と考えられています。（インフルエンザと同程度）															
感染経路	主に飛沫感染と接触感染と考えられています。															
検査方法	医師が感染の疑いがあると判断した場合、渡航歴・患者との接触歴に関わらず咽頭スワブのPCR検査を行います。															
治療方法	現時点では特異的な治療薬やワクチンは存在しません。対症療法が中心です。															

- ・新型コロナウイルス感染症について
- ・意外と知らない?! 手洗い・アルコール消毒液・マスク利用の豆知識
- ・感染拡大を防ぐために など

■関連情報

関連情報として2020年3月10日に公表した、産業医・予防医学の専門家の見解をまとめた『緊急事態における産業医の“役割”と“重要性”～新型コロナウイルス感染症対策とBCP』があります。

（「サンポナビ <https://sangyoui-navi.jp/blog/286>」にて掲載しています）

1. 緊急時における産業医の役割～プロフェッショナルな産業医を育成する機関「産業医アドバンスト研修会」の見解
2. BCPのフェーズを視野に入れた、経営的判断における産業医の必要性—小島玲子氏（株式会社丸井グループ執行役員・統括産業医）
3. 新型コロナウイルス感染症対策における産業医の実務—予防医学専門科（株式会社エムステージ所属産業医）
4. 新型コロナウイルス感染症の対応を求めて、企業からは産業医の活動に関する相談が増加している—鈴木友紀夫（株式会社エムステージ 取締役 産業保健事業部長）

PRESS RELEASE

■「産業医サポートサービス」について

<https://sangyohokensupport.jp/>

企業へ課題のヒアリングから各企業の状況にマッチした産業医を紹介し、選任後は当社の専門コーディネーターが産業保健活動をサポート。「産業医に何を頼めばよいかわからない」という企業担当者の悩みを解決します。嘱託産業医の業務管理システム「M Connect」では、企業担当者・産業医・コーディネーター間で産業保健の業務管理を行うことができます。産業医の訪問日程・業務内容の共有や報告書の授受、健診結果の管理、二次健診者の進捗管理、機密情報をアクセス者限定で保管するといった機能があります。

企業に対し、産業医を紹介して終わりではなく、継続して意味ある産業保健活動ができるよう、オンライン・オフライン双方でサポートしています。

■「サンポナビ」について

<https://sangyoui-navi.jp/blog>

はじめる、つづける、変わっていく—企業の大切な資産である従業員が健康に働き続けられるように、企業の産業保健に役立つ情報を発信いたします。

コンテンツ例：職場の課題への処方箋（新型うつ／大人の発達障害／再休職させない復職）

産業医は見た！産業医が見る職場の課題をレポート

健康経営実践企業レポート

ストレスチェック義務化で露呈した、産業医の実態

■エムステージについて

<https://www.mstage-healthcare.jp/>

「すべては持続可能な医療の未来をつくるために」をミッションに、医師のキャリア支援と医療機関向け採用支援、産業医を軸とした企業向け健康支援サービスを運営。企業向け健康支援サービスは、産業医の手配と業務支援を担う「産業医サポートサービス」をメインに利用事業所数 800 件を突破（2019 年 6 月現在）。日本の働き方改革推進に貢献しています。

■エムステージグループについて

<https://www.mstage-corp.jp/>

2003 年、株式会社メディカル・ステージ（現 株式会社エムステージ）を設立。医師の転職や定期・スポットアルバイトの求職を支援する「Dr.転職ナビ」「Dr.アルナビ」で医師の柔軟な働き方を切り開き、医療機関の採用課題を解決してまいりました。2016 年からは企業の産業保健活動を支援する「産業保健サポート」を開始。働く人の健康に寄与し、予防医療の観点から医療費の削減に貢献しています。2019 年 10 月、ブランドリニューールを行い、産業保健・医療人材・医療経営の 3 つの領域から医療課題の解決を図るエムステージグループとして再スタートを切りました。

<取材に関するお問い合わせ>

株式会社エムステージホールディングス 広報：本多

TEL: 03-6867-1170 / FAX: 03-6867-1171 / MAIL: y.honda@mstage-corp.jp

商号 : 株式会社エムステージ

代表者 : 代表取締役 杉田 雄二

設立 : 2003 年 5 月

資本金 : 6,250 万円

所在地 : 〒141-6005 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 5 階

事業内容 : 企業向け健康経営支援、医師人材総合サービス、医療機関向け採用支援

<お問い合わせ>株式会社エムステージホールディングス 広報：本多

TEL: 03-6867-1170 / FAX: 03-6867-1171 / MAIL: y.honda@mstage-corp.jp